



■牛や豚のコンテスト

市畜産共進会が10月4日木の宮公園運動広場で開かれ、市内の農家から乳牛や種豚など80頭余りが出陳されました。出陳されたものは、いずれも優秀なものばかりで、審査員は順位を決めるのに一苦勞でしたが、毛のつやや健康状態など見て審査した結果、各部の最優秀は次のように決まりました。

- 乳牛 渡辺定雄(神戸)
- 肉牛 小川和作(川原宿)
- 種豚 加藤義忠(穴原)

■南町・平垣駐車場が有料に

南町公園駐車場と平垣駐車場が10月15日から、有料駐車場としてオープンしました。営業時間は午前8時から午後8時まで、駐車料金は1時間50円です。割引回数券も発行していますのでご利用ください。なお、午後8時から翌日の午前8時まででは無料です。



■運転のうでまえは……

秋の交通安全運動の一環として、さきごろドライバーの運転適性検査を市役所で行ないました。この検査はドライバーの運転技能を調べるもので、事業所や市消防職員ら50名が処理判断検査、速度見越し反応検査などを受けました。この検査結果は、分析が終了しだい本人に通知します。



統計で知る 富士市

農業粗生産額は62億6500万円

昨年1年間の市内の農作物の作付面積は別図のとおりです。もつとも作付面積の多い野菜類は、生産量が35.282トンで粗生産額は15億800万円にのぼっています。米は7238トンで、9億2500万円。茶・工芸作物類は9212トンで、10億5400万円。果樹類は9235トンで、5億円。苗木

⑪ 類は1021万本で2億500万円となつています。このほか畜産関係の生産額は18億1500万円にのぼり、農業生産物の総額は62億6500万円にのぼっています。

なお、農業粗生産額の推移をみると、昭和40年が36億1500万円、41年が42億2300万円、42年が47億1400万円、43年が49億8900万円、44年が59億7300万円となつています。

